



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社コンフィデンス・インターワークス 上場取引所 東  
コード番号 7374 URL <https://ciw.jp/>  
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）澤岷 宣之  
問合せ先責任者 （役職名）取締役 管理管掌 （氏名）永井 晃司 TEL 03(5312)7700  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	7,260	13.8	975	△3.4	961	△5.6	602	△29.6
2025年3月期第3四半期	6,380	18.7	1,009	12.7	1,017	20.7	855	56.3

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 603百万円（△29.2％） 2025年3月期第3四半期 852百万円（55.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	96.90	96.52
2025年3月期第3四半期	137.80	136.40

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	7,485	6,108	81.0
2025年3月期	6,614	5,816	87.3

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 6,063百万円 2025年3月期 5,777百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2026年3月期	—	35.00	—		
2026年3月期（予想）				40.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	9,800	16.8	1,270	△2.5	1,230	△6.2	770	△25.9	123.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2026年2月13日）公表いたしました「2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有  
新規 2社（社名）株式会社BRAISE、株式会社ジーズ・コーポレーション

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	6,713,177株	2025年3月期	6,708,777株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	463,265株	2025年3月期	538,032株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	6,218,771株	2025年3月期3Q	6,207,430株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、市場予測のと通りの堅調さを維持し、大企業製造業を中心に景況感が連続して改善傾向を示し、4年ぶりの高水準となっております。市場にて警戒された米国の関税政策について内外経済への目立った影響は見られず、企業の景況感や収益、設備投資計画等が堅調に推移した結果と捉えられております。

大企業製造業では、石油等の素材業種の改善が進んだ反面、自動車等の加工業種が悪化傾向を示しており、先行きは横ばいが見込まれております。また、非製造業では、市場予測を若干下回る推移を示しており、販売価格の上昇や物価高による消費の減少並びに人手不足を背景に、先行きは悪化が見込まれております。

物価高に繋がる価格転嫁の進展が業績改善要因の主軸となっているものの、反面で人件費・物流費等のコスト上昇や消費の下押し等による先行き悪化が懸念される不透明感を孕んでおります。

また、当社グループ全体の事業領域である人材ビジネス市場の状況は、2025年11月の完全失業率（季節調整値）は2.6%（前年同月2.5%、前月2.6%）、有効求人倍率（季節調整値）は1.18倍（前年同月1.25倍、前月1.18倍）、新規求人倍率（季節調整値）は2.14倍（前年同月2.25倍、前月2.12倍）の国内雇用状況であり、若干の下落傾向を示しつつも高水準にて堅調に推移しております。

当社グループの主要な事業である「HRソリューション事業 人材派遣・受託」が主にサービス提供を行っているゲーム業界においては、2025年の国内家庭用ゲームのハード・ソフト市場は、ハードは2,826.9億円で前年対比149.3%、ソフトは1,354.4億円で前年対比121.0%、ハード・ソフト合計では4,181.3億円と前年対比138.8%（出典：ファミ通ゲームソフト・ハード売上ランキング 2025年年報）の前年度より反転し増加傾向を示しております。一方で、2024年の世界のモバイルゲーム市場規模は12兆4,103億円で前年比141.2%、日本の市場規模は1兆7,290億円で前年比145.5%（出典：ファミ通モバイルゲーム白書2025、一部為替を考慮）と世界・日本共に拡大傾向を示しております。国内家庭用ゲーム市場規模は前年度から反転し拡大傾向にあり、今後もゲーム市場は概ね安定的に推移する事が見込まれます。

しかしながら、開発費の高騰や開発期間の長期化、海外企業の日本市場での台頭もあり、モバイルを中心としたソーシャルゲーム並びにコンシューマーゲーム共に多くの国内デベロッパー各社が継続して苦戦を強いられているのも事実であります。

このような環境の中、当社グループの「HRソリューション事業 人材派遣・受託」では、ゲーム会社各社の業績が軟調に推移する中、ゲーム及びエンターテインメントの周辺領域の新規取引先の開拓のみならず、M&Aを活用した新規領域への参入により、グループ全体での派遣事業の配属者数の拡大に取り組んで参りました。

また、「HRソリューション事業 人材紹介」の業績は軟調ながら、「メディア&ソリューション事業」の業績は堅調に推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高7,260,262千円（前年同期比13.8%増）、営業利益975,310千円（前年同期比3.4%減）、経常利益961,166千円（前年同期比5.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益602,579千円（前年同期比29.6%減）となりました。

報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### <HRソリューション事業 人材派遣・受託>

主要な事業である「HRソリューション事業 人材派遣・受託」におきましては、主力のゲーム会社向け人材派遣サービス、並びにゲーム会社を中心とした顧客からの受託サービスを展開しております。

「HRソリューション事業 人材派遣・受託」では、中長期的には成長が見込まれているゲーム市場に対して、安定的な事業の継続拡大を企図して、ゲーム業界の大手並びに中堅企業への網羅的な求人獲得活動の継続、ゲーム業界志望者に対する効率的なマーケティング活動の実施、業界向けイベント開催を通じた当社認知度の向上等に取り組んでおります。

人材派遣サービスにおいては、ゲームソフト・アプリケーション市場がモバイルを中心としたソーシャルゲームでは開発費の高騰や開発期間の長期化、海外企業の日本市場での台頭等から、多くのデベロッパー各社が苦戦の継続を強いられる状況下、市場全体として苦戦している状況が継続しております。

このような状況に対し、ゲーム及びエンターテインメントの周辺領域への取り組み、商圏の拡大を企図した取り組みである関西圏及び九州圏への進出、また、取り扱う契約形態の多様化観点からフリーランスマッチング市場への参入を進め、売上基盤の拡大に継続して努めて参りました。

また、2025年4月には大阪を拠点にクリエイター専門の人材サービスを展開する株式会社レッツアイを連結子会社化し、既存のゲーム業界と親和性の高いWeb職種をはじめとした職種の多様化に努めると共に、関西圏の顧客基盤の拡大を図り、2025年7月にはテレビ番組制作業界において人材サービスや業務受託を展開する株式会社BRAISE並びに株式会社ジーズ・コーポレーションを連結子会社化し、映像制作業界へも参入いたしました。

株式会社コンフィデンス・プロが担当するフリーランスマッチング市場での展開、株式会社レッツアイが担当するクリエイター専門人材サービス市場での展開は堅調であり、その他の新規参入や取り組みについても概ね順調な立ち上がりとなっております。

また、前期末比で減少したクリエイター配属数を反転増加させるため、引き続き、新規取引先の開拓に加え、既存取引先の部署別・タイトル別開拓を行うことにより、受注案件数の拡大に注力しております。クリエイターの採用市場においては、採用媒体の選定や採用広告の出稿配分を最適化することにより、ゲーム会社からの需要に応えられるクリエイターを採用しており、これに加えて、自社の求人メディアを開設することにより求職者の応募チャネルの増加を図っております。

受託サービスにおいては、主にゲームタイトルのデバッグ業務を受託しており、守秘性が高いことから、新宿区に専用オフィスを設置しております。

現在稼働中の案件は安定的に推移しており、人材派遣事業との連携を図り、新規案件のリード獲得数増加に努めております。

これらの結果、当セグメントの業績は、売上高4,959,441千円（前年同期比21.2%増）、セグメント利益884,548千円（前年同期比7.4%減）となりました。

#### <HRソリューション事業 人材紹介>

「HRソリューション事業 人材紹介」におきましては、メーカー・建設・不動産・エネルギー・IT・ゲーム・エンタメ等の業界を中心とした顧客企業に対して、アッパーミドル層を中心とした高いプロフェッショナル性を持つ求職者を紹介する職業紹介サービスを展開しております。

「HRソリューション事業 人材紹介」の市場において、構造的な労働力不足を背景に、国内企業における人材ニーズは各業界共通して高水準が維持されている反面、賃上げなどによる待遇改善が進んでいることから転職市場における人材の流動性が鈍化しております。

しかしながら、雇用人員判断では全規模並びに全産業での不足超幅が拡大を示しており、中長期的な市場の活性化が見込まれております。

この市場動向に対して、採用ニーズの高い既存取引企業向けの専任アカウンティングチームを編成、中小企業を中心とした新規企業の開拓に継続して務めており、AIも活用し一人の登録人材に対する提案求人数を拡大し生産性の向上を図っております。

また、過年度に子会社化した株式会社プロタゴニストが黒字転換を達成し、堅調な事業展開を進めております。

これらの結果、当セグメントの業績は、売上高1,137,170千円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益392,197千円（前年同期比3.3%減）となりました。

#### <メディア&ソリューション事業>

「メディア&ソリューション事業」におきましては、製造業界・工場に特化した求人メディア「工場ワークス」を運営しております。

また、受託・その他のサービスとして、長年にわたり積み重ねたノウハウとHRTechを活用した採用アウトソーシングコンサルティングにより、企業の採用課題の解決を支援するサービス等を展開しております。

「メディア&ソリューション事業」の主な市場において、大企業製造業での景況感が悪化しつつあるものの中長期的には横ばいの見込であり、雇用人員判断で全規模並びに全産業での不足超幅が拡大を示すとおり、人材の獲得が困難な状況が継続しております。

また、新卒・中途のいずれの採用領域も既存の求人メディアのほかダイレクトリクルーティングサービスや人材紹介サービス、SNS系スカウトサービスなど様々な転職支援サービスが立ち上がり（「メディアとプラットフォームの分散化」）、求職者側の転職行動が多様化し人材の獲得難に拍車がかかる状況となっております。

メディアサービスにおいては、「応募者対応」への組織的な拡充強化に努め、希望条件に合った求人案内や面接対策・書類作成支援など転職応募から面接・採用に至るまでの応募者対応サービスを展開し、SNSを活用した集客プロモーションとコミュニケーションツールの導入を進め、求職者との接点量拡大とLTV向上によるユニークユーザー数の拡大を図り、集客チャネルが多様化する中で集客効率の高いチャネルを見極めて費用投下し、緻密なアロケーションを実施することで広告プロモーション適正化を図っております。

採用支援サービスにおいては、業務シェアリングとプロジェクト間の人材ローテーションを実施し、業務プロフェッショナル人材の育成に取り組んでおります。

これらの結果、当セグメントの業績は、売上高1,171,885千円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益421,576千円（前年同期比6.6%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて870,950千円増加し、7,485,379千円となりました。これは主に、業績、配当金の支払、還付納税、及び株式会社レッツアイ、株式会社BRAISEの株式取得等を反映した結果の、現金及び預金の増加152,807千円、売掛金の増加213,824千円、及びのれんの増加254,487千円等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて579,011千円増加し、1,376,499千円となりました。これは主に、未払金の増加117,134千円、未払法人税等の増加209,809千円等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて291,939千円増加し、6,108,879千円となりました。これは主に、業績、配当金の支払等を加味した利益剰余金の増加166,850千円、RS（譲渡制限付株式報酬）の付与に伴う処分等による自己株式の減少119,642千円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の87.3%から81.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2026年2月13日の「2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、通期連結業績予想を修正いたしました。

なお、業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### （1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,994,242	4,147,050
売掛金	740,155	953,980
前払費用	71,882	111,854
未収入金	816	36,817
その他	22,633	44,813
貸倒引当金	△462	△5,148
流動資産合計	4,829,268	5,289,367
固定資産		
有形固定資産		
建物	68,740	99,445
減価償却累計額	△15,183	△45,399
建物（純額）	53,557	54,045
工具、器具及び備品	77,845	147,183
減価償却累計額	△44,226	△111,426
工具、器具及び備品（純額）	33,618	35,756
その他	—	24,199
減価償却累計額	—	△23,784
その他（純額）	—	415
有形固定資産合計	87,176	90,218
無形固定資産		
ソフトウェア	89,359	53,991
のれん	1,374,836	1,629,324
無形固定資産合計	1,464,196	1,683,315
投資その他の資産		
投資有価証券	15,000	15,000
繰延税金資産	100,233	84,861
差入保証金	109,993	227,277
その他	13,792	100,004
貸倒引当金	△5,232	△4,664
投資その他の資産合計	233,787	422,478
固定資産合計	1,785,160	2,196,012
資産合計	6,614,428	7,485,379

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	2,076	—
買掛金	95,200	173,866
未払金	118,516	235,651
未払費用	303,312	383,680
未払法人税等	36,577	246,386
未払消費税等	103,733	122,331
預り金	26,878	96,505
契約負債	3,440	10,338
返金負債	5,606	5,269
賞与引当金	98,592	91,120
その他	0	—
流動負債合計	793,935	1,365,150
固定負債		
長期借入金	3,553	—
退職給付に係る負債	—	11,349
固定負債合計	3,553	11,349
負債合計	797,488	1,376,499
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	534,590	535,922
資本剰余金	3,912,691	3,910,573
利益剰余金	2,191,258	2,358,109
自己株式	△861,220	△741,578
株主資本合計	5,777,319	6,063,026
新株予約権	39,620	45,395
非支配株主持分	—	457
純資産合計	5,816,940	6,108,879
負債純資産合計	6,614,428	7,485,379



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,380,954	7,260,262
売上原価	3,181,106	3,878,156
売上総利益	3,199,847	3,382,105
販売費及び一般管理費	2,190,086	2,406,794
営業利益	1,009,761	975,310
営業外収益		
受取利息及び配当金	410	7,191
受取家賃	1,836	163
助成金収入	6,520	4,607
その他	283	1,572
営業外収益合計	9,050	13,533
営業外費用		
支払利息	70	1,194
支払手数料	943	21,391
その他	121	5,092
営業外費用合計	1,135	27,678
経常利益	1,017,676	961,166
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	181	—
特別利益合計	181	—
特別損失		
固定資産除却損	1,942	956
事務所移転費用	14,428	2,029
関係会社株式売却損	8,509	—
特別損失合計	24,880	2,985
税金等調整前四半期純利益	992,977	958,180
法人税、住民税及び事業税	72,989	339,826
法人税等調整額	67,935	15,316
法人税等合計	140,925	355,143
四半期純利益	852,052	603,037
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,322	457
親会社株主に帰属する四半期純利益	855,375	602,579

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	852,052	603,037
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	852,052	603,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	855,375	602,579
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,322	457

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年6月23日開催の取締役会決議に基づき、2025年7月16日付で当社の取締役（社外取締役を除く。）に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分（75,000株）を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間末において、単元未満株式の買取りと併せて自己株式が119,642千円減少し、741,578千円となっております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
減価償却費	78,063千円	58,305千円
のれんの償却額	123,735千円	159,301千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 （注）1	四半期連結損 益 計算書計上額 （注）2
	HRソリューション事業 人材派遣・受託	HRソリューション事業 人材紹介	メディア& ソリューション 事業	計		
売上高						
人材派遣	3,909,519	—	—	3,909,519	—	3,909,519
職業紹介	7,321	1,133,175	588	1,141,085	—	1,141,085
求人広告	—	—	839,169	839,169	—	839,169
受託・その他	175,116	—	316,063	491,180	—	491,180
顧客との契約から生じる 収益	4,091,958	1,133,175	1,155,820	6,380,954	—	6,380,954
外部顧客への売上高	4,091,958	1,133,175	1,155,820	6,380,954	—	6,380,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,091,958	1,133,175	1,155,820	6,380,954	—	6,380,954
セグメント利益	955,415	405,658	395,337	1,756,410	△746,649	1,009,761

（注） 1. セグメント利益の調整額△746,649千円には、のれんの償却額49,494千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用697,154千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益 計算書計上額 (注) 2
	HRソリューション事業 人材派遣・受託	HRソリューション事業 人材紹介	メディア& ソリューション 事業	計		
売上高						
人材派遣	4,291,667	—	—	4,291,667	—	4,291,667
職業紹介	54,625	1,137,170	3,834	1,195,630	—	1,195,630
求人広告	—	—	940,118	940,118	—	940,118
受託・その他	604,913	—	227,932	832,846	—	832,846
顧客との契約から生じる 収益	4,951,206	1,137,170	1,171,885	7,260,262	—	7,260,262
外部顧客への売上高	4,951,206	1,137,170	1,171,885	7,260,262	—	7,260,262
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,234	—	—	8,234	△8,234	—
計	4,959,441	1,137,170	1,171,885	7,268,496	△8,234	7,260,262
セグメント利益	884,548	392,197	421,576	1,698,322	△723,011	975,310

(注) 1. セグメント利益の調整額△723,011千円には、のれんの償却額49,494千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用及びセグメント間取引消去673,517千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、株式の取得により、株式会社レッツアイ、株式会社BRAISEおよび株式会社ジーズ・コーポレーションを新たに連結の範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は、「HRソリューション事業 人材派遣・受託」において1,116,100千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「HRソリューション事業 人材派遣・受託」セグメントにおいて、株式会社レッツアイの全株式を取得し、同社を連結子会社化しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、148,771千円であります。

また、「HRソリューション事業 人材派遣・受託」セグメントにおいて、株式の取得により、株式会社BRAISEおよび株式会社ジーズ・コーポレーションを連結子会社化しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、265,018千円であります。